

## 〔国際会議開催〕

申請者	立命館大学 情報理工学部 教授 丸山 勝久	2185012
国際会議名称	25th Asia-Pacific Software Engineering Conference (APSEC 2018)	
開催期間	2018年12月4日～12月7日	
開催場所	奈良春日野国際フォーラム（奈良県奈良市）	
申請者の役割	実行委員長（General Chair）	

## 概要：

本会議は、ソフトウェア工学に関する最新の研究成果と実践成果の発表の場を提供するとともに、世界の第一線で活躍している多数の研究者や実践者と、わが国をはじめとするアジア・オセアニア地域の研究者および実践者が交流を図ることを目的として開催した。会議には、世界28カ国から253名の参加者が集まった。研究発表をはじめとし、3件の基調講演、1件のチュートリアル、4つのワークショップを実施した。研究論文トラックには191件の投稿があり、52件が採録されている。研究論文トラックの他にも、ソフトウェア工学の実践トラック、研究速報トラック、ポスタートラックを設定し、合計95件の研究発表が行われた。

現代社会において、ソフトウェアは社会基盤のさまざまな局面を支えているだけでなく、新しい産業を生み出す原動力にもなっている。また、機械が人間の知的作業の一部を肩代わりする社会では、人間と機械の調和を実現するソフトウェアの信頼性や安全性を飛躍的に向上させることが強く求められる。このような状況において、ソフトウェア開発や保守における実社会での課題を議論する場や、異分野との融合を活性化させる場を提供することはきわめて重要である。本会議を通して、ソフトウェア工学は実社会に生じる複雑かつ予想困難な課題に真に向き合うべきであるという意識のもと、未来のソフトウェアのあるべき姿を議論することができ、開催目的を十分に達成したといえる。また、社会を支えるソフトウェア技術の振興と世界をリードできる若手人材の育成にもつながったと考えている。